

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和4年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史A

教科：地理歴史 科目：世界史A 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年1組～4組

使用教科書：（実教出版『新版 世界史A』）

教科 地理歴史 の目標： 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報や適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりできる。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史A の目標： 近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究している。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 提示された史・資料から必要な情報を探し、要約することができる。 ユーラシア諸地域の自然環境、生活、宗教などの特質についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。（定期考査）</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ユーラシア諸地域の文化的・自然環境的な特色を現代社会との関連させ、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。（発問評価）</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ユーラシア諸地域の自然環境、生活、宗教などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。（授業態度）</p>	<p>○ユーラシアの諸文明 ・ユーラシアの自然環境、生活、宗教 ・諸文明の特質 ・ユーラシアの海、陸における交流</p>	<p>【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・史資料の読み取りができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見を記述できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物などによって積極的に学習している。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技能】 ヨーロッパ世界の拡大と王権の強化、アジア諸国の繁栄とヨーロッパの世界貿易についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西ヨーロッパと東ヨーロッパの王権の特質、多民族・多宗教の共存がはかられたイスラーム諸帝国の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の拡大、アジア諸地域の繁栄とヨーロッパの世界貿易と王権の強化について関心を高め、意欲的に追究している。</p>	<p>○一体化に向かう世界と日本 ・大航海時代のヨーロッパ ・アフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流 ・アジアの諸帝国 ・主権国家体制 ・大西洋世界の展開 ・アフリカ・アメリカ社会の変容</p>	<p>【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・史資料の読み取りができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見を記述できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物などによって積極的に学習している。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技能】 資本主義経済の確立と国民国家形成に関して、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 民主主義、資本主義、社会主義など現代社会大きな枠組みとなる考え方について、自分の考えや自分の生活を関連付けて意見を述べることができる。（発問評価）</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ・アメリカの諸改革と世界の変動について、関心を高め、意欲的に追究している。</p>	<p>○ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動 ・産業革命と資本主義の確立 ・フランス革命とアメリカ諸国の独立 ・自由主義と国民主義の進展</p>	<p>【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・史資料の読み取りができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見を記述できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物などによって積極的に学習している。</p>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
<p>【知識・技能】 19世紀から20世紀前半までの社会の変容に、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。（定期考査）</p> <p>【思考・判断・表現】 科学技術の発達に伴う社会の変容について、自分の考えや自分の生活を関連付けて意見を述べることができる。（発問評価）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 科学技術の発達に伴う社会の変容について、関心を高め、意欲的に追究している。</p>	<p>○急変する社会 ・科学技術の発達 ・企業や国家の巨大化 ・公教育の普及と国民統合 ・国際的な移民の増加 ・マスメディアの発達 ・社会の大衆化と政治や文化の受容</p>	<p>【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・史資料の読み取りができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見を記述できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物などによって積極的に学習している。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>【知識・技能】 第二次世界大戦の世界に関して、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。（定期考査）</p> <p>【思考・判断・表現】 戦後の世界的な諸課題について、自分の考えや自分の生活を関連付けて意見と述べることができる。（発問評価）</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後の世界、関心を高め、意欲的に追究している。</p>	<p>○第二次世界大戦後の世界 ・第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向 ・アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立 ・1970年代以降の市場経済のグローバル化 ・冷戦の終結 ・地域統合の進展 ・知識基盤社会への移行 ・地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題など</p>	<p>【知識・技能】 定期考査において、基本的な事柄や基本的な図業・史資料の読み取りができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 毎時間の課題のなかで、授業のテーマについて自分の生活や関心のある事柄と関連付けて、地震の意見を記述できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の学習態度が良好であり、発言や提出物などによって積極的に学習している。</p>	○	○	○	19
定期考査			○	○		1
						合計
						70